



TEAM

FUKUOKA NEWS
「チーム福岡」福岡県選手団サポートニュース

9月26日 Vol.8

活躍が光るTEAM FUKUOKA!



自転車競技 先陣を切る！ 堂々たる走りで大会新記録を樹立!!

25日、いよいよ本国体が始まった。一昨年、昨年と連続して競技別天皇杯を獲得した本県自転車競技チームが登場。

本年度も盤石な布陣で臨む自転車競技に大きな期待がかかる。

男子4kmチーム・パーシュート予選第21組に登場した本県4人の精鋭たち(貝原涼太・今村駿介・橋本陸・兒島直樹)は、昨年、本県チームが記録した大会記録を3秒近く上回る4分12秒761の大会新記録でゴール。会場にどよめきが起こった。明日の決勝は、1・2位決定戦であり、順当にいけば一番高い表彰台に上がることとなる。小川博美監督は、「昨年より成長した選手がおり、ある程度は計算できたが、ここまでのタイムを出すとは驚いた」と、語った。明日の1・2位決定戦については、本日、大差を付けている予選2位の京都府が相手となる。小川監督は、作戦はメンバーに任せるとした上で、「タイムより勝利。記録の更新は来年挑んでほしい」と、コメント。選手・監督ともに、勝ちにこだわり、勝負師の目をしていたのが印象的だった。

また、チーム・スプリントの予選も行われた。男子は惜しくも9位となり、決勝進出はならなかった。女子(児玉碧衣・内野艶和)は、タイム順で5番目となり、明日の上位決定戦に進めなかったが、5位が確定し、競技得点12点を獲得した。

さらに、ケイリンの1回戦では、成年男子で梶原海斗、成年女子で児玉碧衣、少年男子で上野矢竜が、それぞれ順当に明日の2回戦へと駒を進めた。

競技初日を終えた小川監督は、「欲張りすぎたかな。チーム種目も個人種目も取りにいった結果、チーム・スプリントでは、残念ながら上位にはいけなかった。ただ、その分、個人種目では上位に行くはず。全員が今年も『競技別天皇杯』を狙っているので、楽しみだ」と、明日以降の戦いに思いを寄せた。



【大会新記録を出したパーシュートメンバー】



【女子ケイリン1回戦の児玉選手の走り】

ワンポイントアドバイス

29日に総合開会式を控え、30日より県民の期待を背負った選手たちの熱き戦いが始まる。

気になる天候だが、予報では30日は雨。また強い勢力をもった台風の進路も気になるところである。万全のコンディションを整え、交通や日程、時間の変更等、余裕をもって対応してほしいところである。

日付	26日(水)	27日(木)	28日(金)	29日(土)	30日(日)	01日(月)	02日(火)	03日(水)	04日(木)	05日(金)
福井市	晴のち雨 26/18 70%	雨のち晴 25/18 60%	晴 26/18 10%	曇時々雨 25/19 50%	曇一時雨 23/17 60%	曇一時雨 23/17 50%	曇 23/17 40%	晴一時雨 21/19 80%	晴のち雨 24/18 80%	晴時々雨 23/19 60%
敦賀市	晴のち雨 25/19 80%	雨のち晴 25/18 70%	晴 25/18 20%	雨時々曇 24/18 60%	曇一時雨 25/19 60%	曇一時雨 23/17 50%	曇 23/17 40%	曇一時雨 22/19 80%	晴のち雨 25/17 80%	雨時々曇 25/20 80%



9/26(水)
8:00 現在
日本気象協会